

地域の福祉活動を応援！
福祉活動助成基金

コープぎふは、組合員が参加する岐阜県内の福祉団体を応援しています。これまでに2006の団体に資金の応援をしてきました。今回は福祉活動助成基金で助成を受けた団体へ、お話を伺いました。

地域の福祉活動を応援

2015年国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成をめざして、コープぎふではコープぎふSDGs行動計画を策定しています。その1つに「岐阜県内の非営利的な福祉活動(事業・活動・研究)を資金面で応援しましょう」とあります。それが、福祉活動助成基金です。2006年度から始まり、今年は第16期の募集になります。資金面で苦勞されている団体は、ぜひご応募ください。そして、私たち一人ひとりができることとして、福祉募金も通年おこなっています。OCR注文や店舗の募金箱で募金をよろしく願います。



福祉活動助成金選考委員会
委員長 上林美也子

今までこんな活動に助成してきました

- わらべうたベビーマッサージの開催
- ホースセラピーを行うための仮設トイレおよび安全柵の設置
- 障がい児のための音楽レクリエーションの開催
- 障がいのある方のための美術教室の開催と作品展示 など

2021年度の助成団体の募集に関して

2021年度の募集は11月1日より行います。また、助成金の申請に関する説明会を10月に開催します。説明会の日程については、来月発行するDEK010月号か、9月4週の週刊コープぎふをご覧ください。

2020年度
助成

特定非営利活動法人
ハッピー・クローバー
安心して安全に働ける場所づくり



ハッピー・クローバー
理事長 荒井通江さん

2020年度助成団体、「ハッピー・クローバー」の荒井さんにお話を伺いました。「ハッピー・クローバー」は障がいのある子どもと家族が楽しく余暇を過ごすための映画上映会等の活動、また就労支援も行っている非営利団体です。2018年に障がいのある方たち(以後「利用者」)が働く就労継続支援B型事業所として、唐揚げ専門店と軽作業ができる作業室を開設しました。しかし、唐揚げ専門店は、何年も前に閉店した居酒屋

の設備を利用していただけ、全体が古くなっており、特に換気扇は小さいプロペラが一つ付いているだけだったそうです。荒井さん 「排気はほとんど機能していませんでした。唐揚げをたくさん揚げると煙が充満してしまい、買いに来たお客さんに、入り口の扉、開けておきましょうか? と心配されてしまうほど。利用者さん、特に気管支の弱い方は働きにくくなってしまっているので、その点がずっと心配でした。コープぎふの福祉活動助成基金は、施設の改修もOKと書いてあったので、応募することにしました。審査が通った時はとても嬉しかったです!」



「からあげ専門店 鶏笑」
岐阜市早田栄町3-23 栄コーポラス1階

外に運ぶ管の交換を行い、煙に悩まされることは全くなかったそうです。煙を気にせずたくさん唐揚げを揚げることができるので、お客さんに早く商品を提供できるようにになりました。荒井さん 「以前とは全く違ってとても快適です。何より、安心して利用者さんに入っていただし、作業を任せられるようになったことが一番うれしいですね。本当に感謝しています。」

2019年度
助成

ぎふ場面緘黙親の会
～stand by me～
場面緘黙を伝える。講演会の開催が新たな一歩に



ぎふ場面緘黙親の会
代表 宮田静香さん

2019年度助成団体、ぎふ場面緘黙親の会の宮田さんにお話を伺いました。場面緘黙とは、家庭では話すことが出来るのに、学校や幼稚園など、社会的場面や状況で話すことができなくなる状態です。「恥ずかしがりや」や「内気」など、性格の問題として見過ごされてしまい、適切な診断や治療を受けられず、大人になってからも持続しているケースが多くあるといわれています。

宮田さん 「私の娘が場面緘黙でした。就学してから不登校や入院をしていた期間がありました。が、学校や周りの理解を得て、高学年になるころには毎日学校に行けるようになりました。私たちも診断されるまで緘黙という言葉を知らなかつたので、同じように緘黙という言葉を知らずに困っている

人がいるのでは、と考え、ブログで緘黙の症状についてや入院、不登校期間のことを発信し続けました。」

するとコメントで「私の子ども学校で話せなくて」という反応が返ってくるように。そこで宮田さんは、親同士が気軽に交流できる親の会を立ち上げました。現在の親の会は40名ほどです。

宮田さん 「親同士で悩みを交流する中でよく話題に上がるのは、学校の先生など、周りに緘黙を知る人が少なく、協力やフォローがあまり得られないという事でした。教育関係者をはじめ、もつとたくさんの人に緘黙を知って欲しいという想いがありました。親の会のメンバーから、コープぎふに助成基金があるということを知り、助成金を活用して講演会を開くことを決めました。」

緘黙の研究や講演をしている先生を講師に迎え、当日は430人を超える来場がありました。講演会のアンケートでは「もっと知りたい、話を聞きたい」という声が

多数寄せられました。

宮田さん 「たくさんの人に来ていただいたことはもちろんですが、一番嬉しかったのは、緘黙の子の親御さんが担任の先生と一緒に講演会に来て、講演後、今後の学校生活の進め方を相談できたという方がいらつした事です。緘黙は、安心して話ができるような周りのサポートが無いと、克服できないと思います。助成を受けて開催できたこの講演会が、緘黙への理解が進む大きなステップになったと感じています。」



2019年8月に行った講演会の様子

場面緘黙について関心を持たれた方は、下記までお問い合わせください。

助成を受けた団体へ、組合員からのメッセージ

地道な活動をしている団体さんばかりだと思います。頑張ってください。(白川町 杉山さん)

子ども食堂は子ども達にとって食を通して心休まる場所になってほしいと思います。(山県市 ステンドままさん)

福祉募金を通して地域の福祉を応援しましょう

コープぎふでは福祉募金を行なっています。宅配をご利用の方は、OCR注文用紙の6桁・4桁記入欄に注文番号と数量(口数)をご記入ください。e-フレンズ(インターネット)または電話注文センターでも受け付けています。また、各店舗のサービスカウンターでも受け付けています。〔福祉募金〕とお伝えください

注文番号	品名
3987	福祉募金 100円
3988	福祉募金 1,000円

100円から
募金できます!

お問い合わせ：福祉活動助成金選考委員会事務局

TEL: 058-370-6873
受付: 9:00~17:00(月~金)



コープぎふはSDGsの
実現に向けて取り組みます。